



特定非営利活動法人クロスベース

2018 年度活動報告書 (概要版)

差別と貧困をなくし、ともに生きる社会をつくる。

2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日 (2 期)



私たちの想いと活動の柱

VISION めざす社会

差別と貧困をなくし、ともに生きる社会をつくる。

差別は、人をおとしめ、可能性を奪う。

貧困は、人をへだて、可能性を消す。

じゃあ、差別と貧困のない社会をつくるのはどうだろう。

互いのちがいを認め、可能性を信じ続け、ともに生きる社会を。

人と人の豊かな関係性が生み出すカー「つながり」が

子どもの生き抜く力を育み、

ひいては貧困や差別のない社会の土台を作っていきます。

そのためには、多様な人々が互いに交差（クロス）することが不可欠です。

私たちは子どもが「広い世界、異なる他者、未知なる自分」を発見する土壌（ベース）を耕すために、

3つの活動の柱が大切だと考えます。



学びと経験

子どもの学習支援と体験学習の実施

親の経済力や多文化など家庭環境のちがいが教育格差につながらないように、学習支援の機会を提供し、さまざまな人との出会いや学びの体験の場をつくります。



居場所

安心・寛容な「居場所」づくり

家庭や学校以外にも安心していられる場や相談できる人がいることは、子どもの成長にとって大切なことです。自分と他者を認め、他者から認められる居場所を提供します。



まちづくり

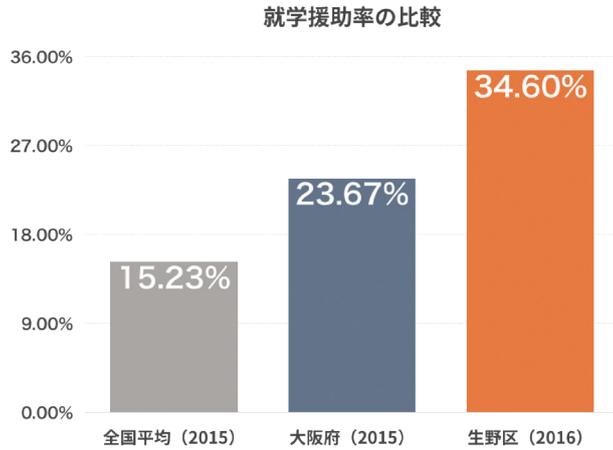
活力ある寛容な地域まちづくり

「差別と貧困」を許さず、そこにいれば自然と子どもが育つ地域文化の醸成に寄与します。官民協働により「ともに生きる」子育て・教育の社会的仕組みづくりをめざします。



なぜ大阪市生野区なのか

就学援助率

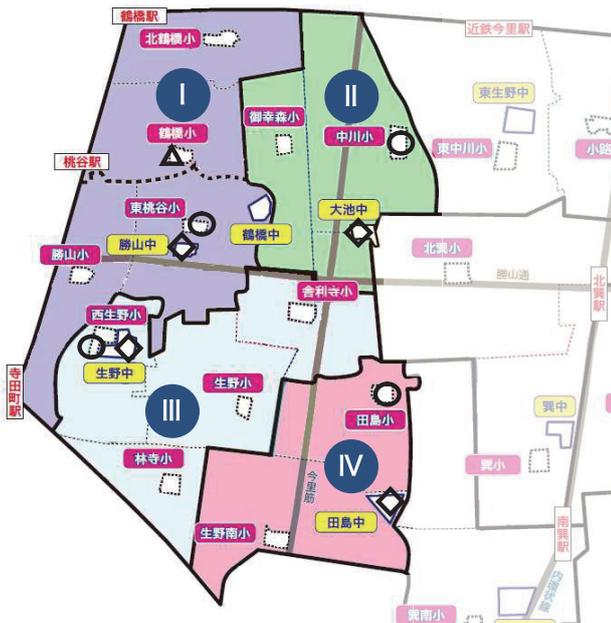


文部科学省「就学援助実施状況等調査結果」(2017年12月)をもとに作成。

就学援助率：公立の小中学校に通う子どものうち、経済的に困窮している家庭に学用品などを補助する就学援助制度の支給対象となっている子どもの割合のこと。

！生野区の就学援助率は全国平均の2倍以上で、大阪府より10%以上も高い。

生野区西部地域の学校の縮小再編



！生野区西部地域にある12校の小学校が、数年後には4校に縮小再編される計画。

外国籍住民比率

順位	市区町村	外国籍住民比率 (%)
1	北海道占冠村	22.69
2	大阪市生野区	21.78
3	群馬県大泉町	18.11
4	北海道赤井川村	12.68
5	東京都新宿区	12.40
6	大阪市浪速区	12.39
7	横浜市中区	10.85
8	名古屋市中区	10.71
9	北海道留寿都村	10.15
10	東京都豊島区	10.10

みずほ総合研究所「大都市圏を中心に増加する外国人」(2018年7月25日)
<https://www.mizuho-ri.co.jp/publication/research/pdf/insight/pl180725.pdf>
 より作成。

！生野区民の5人に1人が外国籍住民で、その比率は全国の都市部で第1位。

つまり生野区は・・・

子どもの貧困化

多国籍・多民族化

超少子高齢化

課題先進エリア

学習支援事業 学習サポート教室 DO-YA (どおや)

小中学生を対象に、①学力を伸ばすこと、②学習意欲を伸ばすこと、③安心・寛容な居場所となることをめざします。

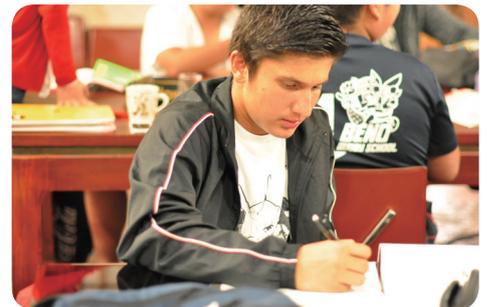
2018 年度活動実績

対象	実施日時	内容
小学4～6年	毎週水曜日・木曜日 16:00～17:00	宿題・自主学习
中学生	毎週水曜日・木曜日 17:30～19:00 19:20～20:00	教科学習

実施日数 106日 (152日)

受講者数 25名

() 内は2017年8月～2018年3月末までの延べ日数 (2019年3月末現在)



講師紹介



金和永 (きむ・ふあよん)

大阪大学大学院文学研究科 博士後期課程 臨床哲学研究室

受講生が、他愛ない会話のなかで自分のやりたいことや夢、感じていること・考えていることを教えてくれることがあります。勉強とおなじくらい、そのような時間も大切にしています。学力の向上と、「自分がなにをしたいのか」と考え表現することは、車の両輪として、夢を実現する力を育てていくからです。



中崎京香 (なかざき・きょうか)

大阪大学外国語学部 英語専攻

1回あたりの授業時間は短いですが、その中で勉強だけでなく、最近嬉しかったことや楽しかったこと、辛かったことなどを話すことも大切にしていきたいと思っています。

また来週も来たい! と思ってもらえるような明るい雰囲気づくりをしていきますのでよろしくお願い致します。



講師が話し合い作成した DO-YA の「基本ルール」

上記以外に、大阪大学大学院修士卒の社会人2名と退職教員の、合わせて5名の講師体制で運営しました。

▶▶ 2018 年度を振り返って

2017年度末の時点で受講生の子どもは4名でしたが、2018年度3月末には25名に増えました。小学生を対象とした「宿題 DO-YA」を新規開設しました。不登校の子どもや6カ国(日本、韓国、中国、ベトナム、ネパール、スリランカ)にルーツをもつ子どもたちなど、多様な背景を持つ子どもたちが集い学習する居場所になりました。学習後には、「雑談」と称する個別の対話機会も設けて、子どもたちの学習や生活の振り返り時間を毎回設定しました。来年度(2019年度)は、大阪市生野区の東部地域に DO-YA の教室の新拠点を開設する計画です。

体験活動事業 体験活動 DO/CO (どこ)

多様な人と学びの体験活動を通じて「広い世界、異なる他者、未知なる自分」を発見することで、自分の可能性を広げます。

2018 年度活動実績

実施日	タイトル
5月26日	出会って、知ろう ベトナムのこと、日本のこと。 1
6月30日	出会って、知ろう ベトナムのこと、日本のこと。 2
7月22日	クロスベイス夏のこどもキャンプ18 ネイチャーツアーとカップヌードル!?
10月27日	まちの農園 de 多文化! in 松野農園
12月1日	大学キャンパスツアー! @立命館大学・大阪いばらきキャンパス
1月19日	こえとことばで自由に表現!
2月16日	まるごと英語! English Café for Children 第1弾
3月23日	まるごと英語! English Café for Children 第2弾

参加人数：202人

(2017年10月以降の参加人数：414人)

活動事例

出会って、知ろう。ベトナムのこと、日本のこと。第2弾
「おいしい生春巻きづくり」



生野区在住のベトナム人と料理を通して交流。民族学級（国際クラブ）の民族講師などの声かけで、ベトナムルーツの子どもが多数参加

まるごと英語! English Café for Children 第2弾



京都アメリカ大学コンソーシアムの協力で、コロンビア大学などからの留学生と交流。アメリカについてのイメージから離れて、人同士で関わりあう時間に。

大学キャンパスツアー!
@立命館大学・大阪いばらきキャンパス



大学の学びについて、大学生によるキャンパスツアー、大学の学びについてのワークや交流を行う

大学がどのような場所かが分かりました。自分を広げていくこと、人との関わりあいの中で自分を深めていくこと、自分で何かをしていくこと。良い経験になりました。 —大学キャンパスツアー—

参加した
こどもの感想

こんなに詩が楽しいとは思いませんでした、詩が楽しいことを教えてくれてありがとうございます。
—こえとことばで自由に表現!

いっぱいいつもに答えてくれてありがとう! たのしかった。ぼくも先生になる。
ベトナムルーツの子ども
—出会って、知ろう ベトナムのこと、日本のこと

▶▶ 2018 年度を振り返って

今年度9回の体験活動を実施し、参加者数は202人であった(2017年度からのべ16回実施し、のべ参加者数は414名)。計画通り開催することができ、継続して子どもたちに多様な体験活動の機会を保障することができました。そのことでクロスベイスに参加する子どもや保護者、地域、地元学校に体験活動 DO / CO のことが知られるようになりました。今後は、子どもたちが、より体験活動の企画・運営・総括に参加できるような仕組みや内容を作りたいと思います。そうした点を踏まえて来年度は、体験活動を①「探求型」、②「知識型」、③「イベント型」の目的別に仕分けした形で実施します。

地域まちづくり事業

「差別と貧困」を許さず、「ともに生きる」ことができる子育て・教育の社会的仕組みづくりをめざします。

2018 年度活動実績

「IKUNO・多文化ふらっと」への参加

大阪市生野区における人権尊重を基調とした多文化共生のまちづくりをめざした市民主導による人的交流と論議、情報交換と共有、学ぶ場となるプラットフォーム。事務局を担当。



セミナー 生野発！市民による多文化共生のまちづくりをめざして

日時：2019年2月17日

主催：IKUNO・多文化ふらっと（準）／生野区 NPO 連絡会

場所：大阪市立御幸森小学校

参加：約 80 名

大阪生野コリアタウン（御幸通商店街）の事務局業務（委託）

年間 100 万人以上の買い物客や観光客が訪れる大阪有数の集客力を誇る個性豊かな商店街。商店街の一層の活性化と多文化共生のまちづくりに寄与します。

フィールドワークなどの講師

大学生、中学生、大人などを対象に、大阪生野コリアタウンを舞台にした歴史教育・多文化共生教育のためのフィールドワークなどの講師を担い、多様で寛容な地域まちづくりに貢献します。



事務局業務（委託）

時間：毎週月曜日・水曜日・金曜日

10：00～16：00

内容：ホームページの管理運営、
電話対応、会議資料の準備、
会報の作成・配布など



2018 年度実績：52 回（学校・団体）

▶▶ 2018 年度を振り返って

大阪市生野区における多文化共生のまちづくりに向けて、市民主導のプラットフォーム発足の土台を作ることに寄与できました。その過程で行政の担当部署との信頼関係も構築することができました。大阪生野コリアタウンの事務局業務やフィールドワークなどの講師派遣についても十全に実施することができました。次年度に向けては、上記プラットフォームの発足と、プロジェクトの実施と展開に向けて積極的な役割を担うことで、地域まちづくりに貢献していきます。またコリアタウン事務局業務とフィールドワークは継続して役割を担っていきます。

その他の事業

貸しスペース&ギャラリーへの貸室業務を行います。

また各ネットワーク・実行員会に加盟・参加することで活動の幅を広げています。

▶ 貸しスペース&ギャラリーの貸し利用

2018 年度実績：72 団体等

▶ 「南北 코리아 と日本のともだち展」大阪実行員会への参加

▶ 生野区ボランティア・市民活動センターへの参加（運営委員）

▶ 生野区 NPO 連絡会への参加（運営委員）



決算報告

2018年度決算書

(自2018年4月1日～至2019年3月31日)

収入の部		
	科目	金額
事業収入	学習支援事業	1,086,000
	体験活動事業	19,602
	まちづくり事業	720,000
	その他事業	681,781
会費・寄付金		713,000
助成金		1,400,000
前期繰越金		1,560,163
収入合計		6,190,546
支出の部		
事業支出	学習支援事業	2,202,230
	体験活動事業	259,255
	海外研修事業	135,000
	まちづくり事業	960,000
	宣伝広報事業	36,210
管理支出	業務委託費	1,033,340
	賃借料	648,000
	その他	341,115
支出合計		5,615,150
当期収支		575,396
次期繰越		575,396

<p>監査報告書</p> <p>特定非営利活動法人クロスベース 代表理事 宋松</p> <p style="text-align: right;">2019年5月25日</p> <p style="text-align: right;">特定非営利活動法人クロスベース 監事 報辰雄</p> <p>私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2018年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の特定非営利活動法人クロスベースの事業報告書及び計算書類（財産目録、貸借対照表及び活動計算書）について監査を実施した。</p> <p>監査の方法は、理事会の議事録その他の重要資料を閲覧するほか、事業の報告を確認し、また財産については証拠書類の閲覧、質問等の合理的な保証を得るための手続を行った。</p> <p>監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令及び定款に違反する重大な事実はなく、2018年度の特定非営利活動法人クロスベースの財産の状況は適正なものと認める。</p>
--

支援の方法

私たちは、差別と貧困をなくし、ともに生きる社会をめざします。
ぜひ活動へのご支援をお願いします。

会員制度

クロスベースの活動にご賛同いただける団体・個人の方は、正会員または賛助会員になれます。正会員の方は年1回開催される総会での議決権があります。

正会員：年会費1口 10,000円
賛助会員：年会費1口 5,000円

クロスベース会員・寄付者の2つの特典

会員限定イベント

交流会や活動報告会などの限定イベントにご招待します。

活動レポート

年に1度発行するクロスベースの活動レポートをお届けします。

寄付

自由な金額でのご寄付も受けつけています。ご寄付は、子どもの学習支援事業や新規プロジェクトに使わせていただきます。確認とお礼のため、お手数ですが、下記の連絡先までお知らせいただければ幸いです。

TEL/FAX : 06-6741-1123

e-mail : crossbase.info@gmail.com

お振込み先

りそな銀行 鶴橋支店 普通 0140447
口座名 特定非営利活動法人クロスベース

郵便振替 口座記号番号 00990-1-333028



代表理事あいさつ
宋悟

2017年4月、クロスベースは「差別と貧困をなくし、ともに生きる社会をつくる」というビジョンを掲げて発足しました。活動の軸となる学習サポート教室（DO-YA）と体験活動（DO/CO）の2つの事業は、すべて徒手空拳の手探り状態。2年目にあたる2018年度は、多くの人々や団体のご支援のもとで、この2つの事業と地域まちづくり事業の基礎を固めることができました。ご協力いただいた皆様に、あらためて心から感謝いたします。

DO/COの一環で立命館大学のキャンパスツアーに参加した、ある子どもは以下の感想を書き記しました。「大学がどのような場所かが分かりました。自分を広げていくこと。人との関わりあいの中で自分を高めていくこと。自分で何かをしていくこと」。子どもたちは、さまざまな現場でたくさんの思いや気づきを心の中に貯めることができました。少しずつ達成感や自尊心を積み重ねることができたようです。それこそ、クロスベースの存在意義であり、これから前に進むときの財産と指針にほかなりません。次年度も引き続き、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

組織概要

名称 特定非営利活動法人クロスベース（Cross Base）
クロスベースの名前の意味
クロス（Cross）は「交差する」こと。ベース（Base）は「土壌」のこと。さまざまな境界線・領域が「交差する」ところにこそ、ともに生きる社会に向けた新しい価値観や社会的仕組みを創造していく源泉があると考えます。そのためには環境や場などの「土壌」を耕していくことが不可欠です。そうした想いを名前に込めました。

法人設立 2017年4月27日
住所 〒544-0034
大阪市生野区桃谷4丁目5番15号 班家食工房2階

理事

宋 悟（代表理事）
榎井 緑（大阪大学大学院人間科学研究科付属未来共創センター 特任教授）
今井 貴代子（兵庫県川西市子どもの人権オンブズパーソン調査相談専門員）
朴 基浩（認定NPO法人D×P前共同代表）

監事

郭 辰雄（NPO法人コリアNGOセンター代表理事）

アドバイザー

秋田光彦（浄土宗大蓮寺住職／パドマ幼稚園園長）
池田由紀（私立小中一貫校 教員／株式会社 Curio School ファシリテーター）
李清一（大阪市生野区社会福祉協議会理事／在日韓国基督教教会館名誉館長）
康 純（大阪医科大学神経精神医学教室准教授／精神科医）
金光敏（NPO 法人コリアNGOセンター事務局長）
武田 緑（教育コーディネーター／人権教育・シティズンシップ教育ファシリテーター）
土肥いつき（全国在日外国人教育研究協議会事務局次長／京都府立高校教員）
弘本由香里（大阪ガスエネルギー・文化研究所特任研究員）
古川正博（全国人権教育研究協議会事務局次長／元大阪市立中学校教員）

受賞・認定実績

平成29年度大阪府商店街課題解決プラン事業 優秀賞
平成30年度生野区持続可能なまちづくり活動支援事業 認定事業
2018 ティグレ起業経営革新事業 上田卓三賞 優秀賞

アクセス

JR・近鉄・地下鉄鶴橋駅またはJR 桃谷駅より徒歩15分
大阪生野コリアタウン内



事務所・貸会議室



レンタルギャラリー「ギャラリー渡来」

連絡先 TEL & FAX 06-6741-1123
e-mail crossbase.info@gmail.com
web サイト https://www.cross-base.org



発行：特定非営利活動法人クロスベース
発行日：2019年6月